エコアクション21

環境経営レポート

（活動期間：2022年4月1日～2023年3月31日）

エコアクション21®
認証番号0012815

2023年5月31日作成

柳本冷機株式会社

環境経営方針

基本理念

柳本冷機株式会社は、管工事・電気工事の事業活動を通じて環境負荷の低減に努め、地球環境の維持・向上の実現のために、社員一人ひとりが自ら責任をもって自主的・積極的に環境負荷の継続的削減に取り組んでいきます。

行動指針

1. 私たちは、次のことについて重点的に取り組みます。

（1） 電気・燃料等の省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量を削減します。

（2） 廃棄物の削減・分別を徹底し、リサイクルを推進します。

（3） 節水に努め、水使用量を削減します。

（4） 化学物質の適正管理に努めます。

（5） 環境経営に配慮した施工に取り組みます。

（6） 地域清掃活動等の社会貢献活動をします。

これらについて環境経営目標を設定し、環境経営活動計画に従って実施します。
また定期的に見直し、継続的な改善に努め、全社員に周知します。

2. 事業活動に関わる環境関連法規、条例、その他の同意する要求事項を遵守します。

2018 年 12 月 1 日
改定　2021 年 7 月 1 日

柳本冷機株式会社
代表取締役 柳本佳孝

事業概要

【取組の対象組織・活動】

名　　称	柳本冷機株式会社
代　表　者	代表取締役　柳本　佳孝
所　在　地	本　　社　〒770-0806　徳島県徳島市北前川町4丁目14番地
	資材置場　〒770-0806　徳島県徳島市北前川町4丁目10番地-10
電 話 番 号	088-653-0836
FAX　番　号	088-652-3661
社　員　数	16名
延 床 面 積	本 社 … 306㎡　　資材置場 … 119.24㎡
事 業 内 容	管工事業、電気工事業、機械器具設置工事業
売　上　高	45,700万円（2022年度）
事 業 年 度	4月1日 ～ 3月31日
法人設立年月日	昭和51年9月20日
資　本　金	1千万円
許 可 の 内 容	建設業許可　一般建設業　　徳島県知事許可(般-02)第205327号
	産業廃棄物収集運搬業許可　徳島県　3600150251号
	第一種フロン類充填回収業者　徳島県　第36101210060号
環境管理責任者 及 連 絡 先	環境管理責任者　柳本　正勝　TEL：088-653-0836

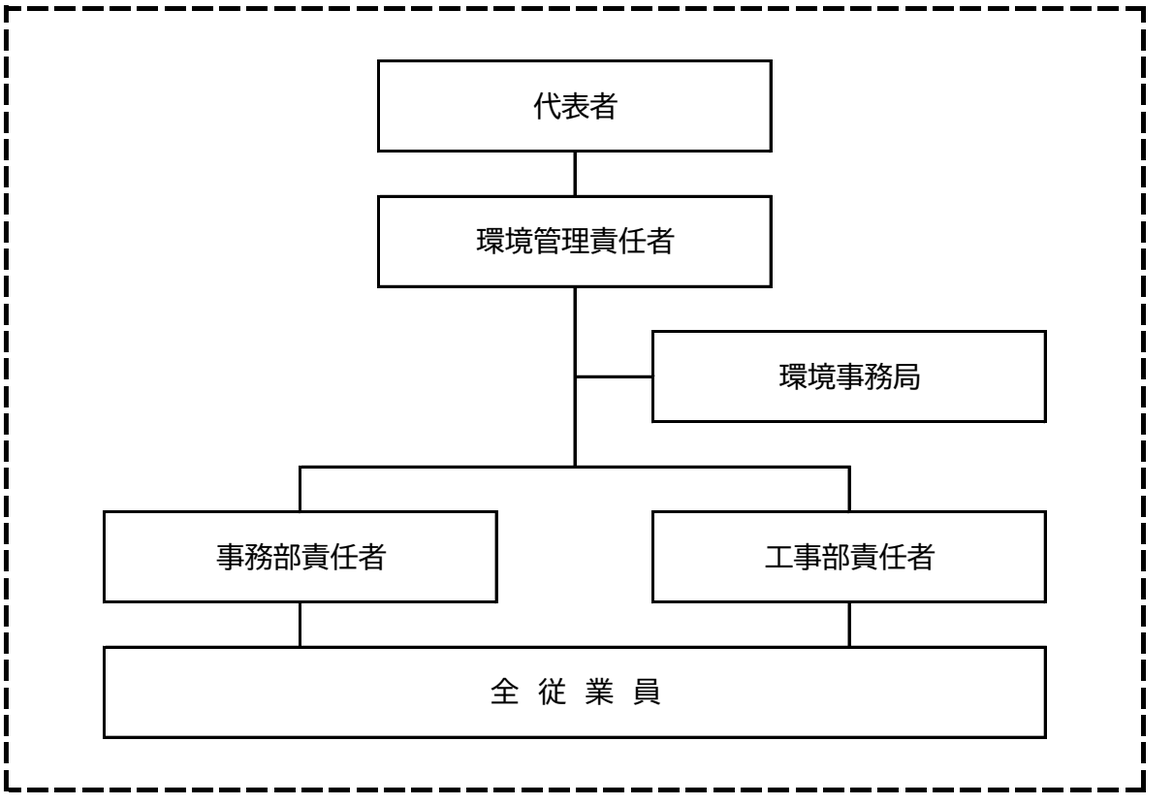
【認証・登録の対象組織及び活動】

上記記載内容と同じ(全組織・全活動)を対象とする

【環境に関する苦情等の受付窓口】

担当者　　柳本　愛美　TEL：088-653-0836

【エコアクション21実施体制図】



代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システム実施のための経営資源の準備を行う ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・代表者による全体の評価を見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標、環境経営計画を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等の管理 ・環境経営レポートの作成、公開
事務部	・電気使用の二酸化炭素排出量削減に努める ・事務系一般廃棄物、事務所内廃棄物の管理 ・水使用量の削減に努める ・事務用品グリーン購入に努める
工事部	・車両燃料使用の二酸化炭素排出削減に努める ・産業廃棄物、建設現場廃棄物の管理 ・工事現場での環境配慮製品の提案、施工
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標

【中長期目標】

・アドプト事業は1年間で3回以上実施する

・化学物質の把握は冷媒充填・回収量の記録は随時する為目標は設定せず、適正管理とする

環境目標		2019年度実績 2019.4月～2020.3月	2022年度 2022.4月～2023.3月	2023年度 2023.4月～2024.3月	2024年度 2024.4月～2025.3月
		基準値	目　標	目　標	目　標
売上高(百万円)		425			
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	51,790	50,236	49,719	49,201
	エネルギー使用原単位	121	117.3	116	115
	削減率(%)		3%減	4%減	5%減
一般廃棄物排出量	総量(kg/年)	30	29.1	28.8	28.5
	削減率(%)		3%減	4%減	5%減
廃棄物再資源化	リサイクル率(%)	77%	77%	77%	77%
	総量(kg/年)	39,519	数量把握	数量把握	数量把握
水使用量	㎥	68	65	64	63
アドプト事業	回数(回/年)	3	3回以上	3回以上	3回以上
化学物質の把握	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
環境配慮	件	36	39	40	41

〇電力の排出係数は、四国電力㈱の2018年度調整後排出係数0.528kg-CO_2/kWhを使用

〇エネルギー使用原単位＝環境負荷 / 売上高（百万円）

環境経営目標の実績

当社における2022年度の環境経営目標達成状況は以下のとおりです

環境目標		単位	2019年度 2019.4月～2020.3月 基準値	2022年度 2022.4月～2023.3月 目　標	実績値	削減率%	目標達成率%	評価
売上高		百万円	425		457			
1	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	51,790	50,236 (△3%)	50,306	-0.1%	99%	◎
		エネルギー使用原単位	121	117.3	110	6%	106%	
	電気使用量	kWh	9,479	9,195 (△3%)	9,527	-4%	96%	◎
		エネルギー使用原単位	22	21.3	20.8	2%	102%	
	ガソリン使用量	L	14,183	13,758 (△3%)	14,084	-2%	97%	◎
		エネルギー使用原単位	33	32.0	30.8	4%	103%	
	軽油使用量	L	5,380	5,219 (△3%)	4,884	6%	106%	◎
		エネルギー使用原単位	12	11.6	10.6	9%	109%	
2	廃棄物排出量							
	一般廃棄物	kg	30	29.1 (△3%)	28	4%	103%	◎
	産業廃棄物の削減再資源化	リサイクル率	77%	77%	75%	-	97%	○
		kg	39,519	数量把握	64,281	-	-	
3	水使用量	㎥	68	65	71	-9%	91%	○
4	アドプト事業	回数	3	3回以上	3回		100%	◎
5	化学物質の把握	-	適正管理	適正管理	適正管理		-	◎
6	環境配慮製品の提案	件	36	39	23		59%	△

○電力の排出係数は、四国電力(株)の2018年度調整後排出係数0.528kg-CO_2/kWhを使用

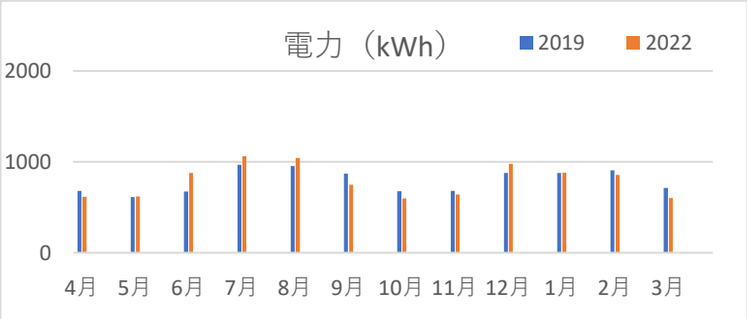
○エネルギー使用原単位＝環境負荷 / 売上高（百万円）

○評価基準(原単位)：◎100%以上　○80%以上　△50%以上　×50%未満

環境経営計画及び取組結果と評価、次年度の取組内容

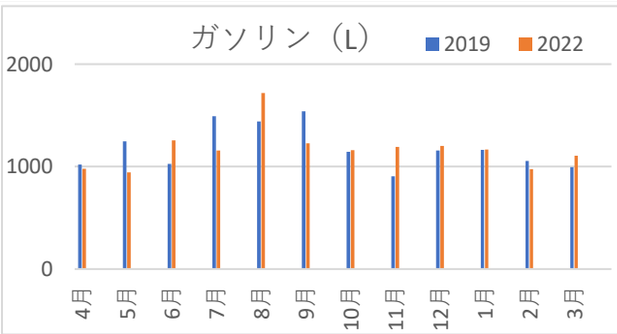
2022年度の環境活動項目の取り組み状況と、その結果今後の取組内容は以下のとおりです

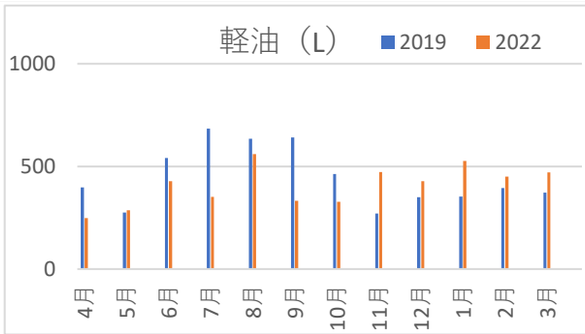
取 組 計 画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力使用量の削減		
1. エアコン適正温度設定（冷房26℃以上暖房22℃以下）	○	暑い時期が長く、夏季の使用量が増加した。電力料金が高騰し、節電意識をさらに強化した結果、1～3月は抑えることができた。ｴｱｺﾝﾌｨﾙﾀｰ清掃を年1回しかできなかったので、使用頻度が増える前には必ず実施すること。
2. 未使用時の照明・空調電源off	○	
3. エアコンフィルター掃除	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	680	613	672	967	952	871	677	682	878	878	907	713	9,479
2022年	616	620	879	1,060	1,043	720	598	640	980	882	856	603	9,527

自動車燃料の削減		
1. ECOドライブの励行	△	遠方の現場は乗り合わせで行くようにした。ガソリン価格高騰の影響で経費が増加した。エコドライブを心がける事で、環境配慮だけでなく安全運転にもつながるので、次年度はさらに強化していく。
2. 適正な車両整備	○	
3. 適切なルート選定	○	
4. 乗り合わせを心がける	○	





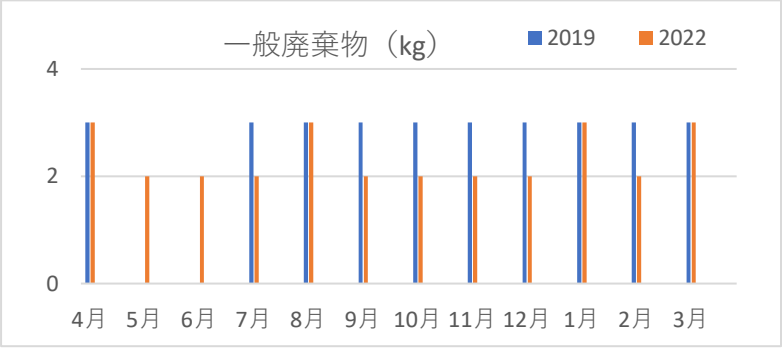
ガソリン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	1,021	1,245	1,025	1,491	1,442	1,540	1,143	904	1,158	1,164	1,054	996	14,183
2022年	979	945	1,255	1,156	1,717	1,226	1,161	1,192	1,203	1,166	977	1,107	14,084

軽油

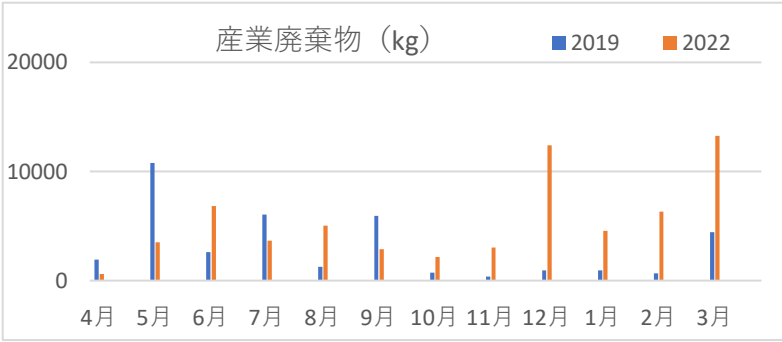
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	398	276	541	684	635	641	463	271	350	353	395	373	5,380
2022年	248	287	428	352	560	332	327	473	428	527	451	471	4,884

取 組 計 画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
一般廃棄物の削減		
1. 裏紙の利用	○	不要な文書は裏紙を利用してからシュレッダーにかけるよう徹底している。竣工書類等、提出書類は予めメールで添削を依頼し、出力を抑えるようにした。FAXでの提出依頼もあるので、臨機応変に対応していく。
2. 印刷前確認（プレビュー）	○	
3. 無駄なプリントアウトを抑える	○	
4. 文書の電子化、メールの利用	○	



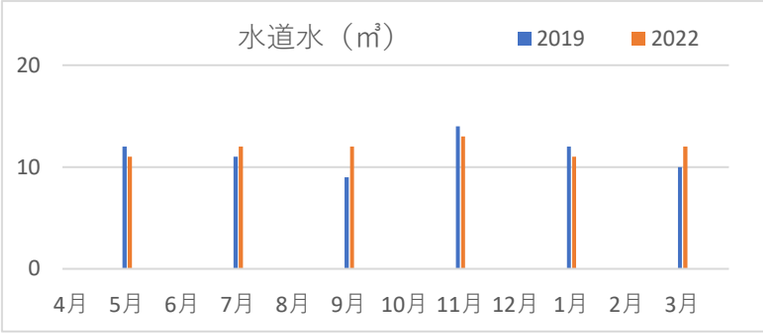
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	3	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30
2022年	3	2	2	2	3	2	2	2	2	3	2	3	28

産業廃棄物の削減		
1. 廃棄物分別徹底、リサイクル促進	○	12～3月の工事量がかなり多く、産廃量も大幅に増加した。マニフェストの管理、産廃量の報告はきちんとできている。材料価格が高騰しているので、残余資材発生防止を徹底する。
2. 残余資材発生の防止	○	



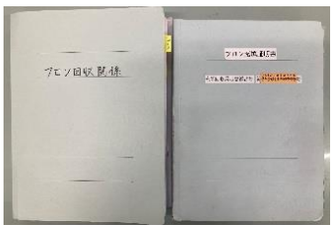
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	1,920	10,770	2,610	6,042	1,260	5,945	722	370	930	930	670	4,430	39,519
2022年	600	3,520	6,820	3,671	5,025	2,890	2,170	3,030	12,390	4,559	6,330	13,276	64,281

取 組 計 画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
水使用量の削減		
1. 日常的節水の励行	○	洗車を減らしたため、前年度よりは使用量を抑えることができた。日常的に節水はできているため、引き続き努力していく。
2. メーターの点検（漏水防止）	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	-	12	-	11	-	9	-	14	-	12	-	10	68
2022年	-	11	-	12	-	12	-	13	-	11	-	12	71

化学物質の把握		
1. 化学物質の適正管理	○	フロン漏洩点検の案内を強化したところ、少しずつ顧客が増えてきた。引き続きお客様にご案内していく。
2. 化学物質の使用量・回収量の把握	○	
3. フロン漏えい防止の為の情報提供	○	



地域貢献活動への参加		
1. 徳島県アドプト蔵本公園の清掃	○	年3回実施できた。引き続き継続する。

環境配慮		
1. 省エネ等製品情報の収集・提案	○	目標件数には達成しなかったが、大きい工事が多かった。機器更新工事を増やせるよう、引き続きご提案する。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規等は次のとおりです

法規制等名称	遵守事項	厳守状況
廃棄物処理法	・委託契約の締結、許可証の確認 ・産業廃棄物収集運搬車両表示 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ・マニフェストの交付と5年間の保管義務	○
騒音規制法	・騒音の規制基準の厳守	○
振動規制法	・振動の規制基準の厳守	○
フロン排出抑制法	・充填証明書、回収証明書の交付 ・充填、回収量など都道府県知事への報告 ・ 再生、破壊証明書の回付　保存 ・機器の簡易点検の実施	○
高圧ガス保安法	・高圧ガス容器や置場の定期検査	○

環境関連法規等の遵守評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

（1）取組状況の全体の評価

《環境経営方針》

引き続き環境負荷の削減に取り組んでいきます。

《環境経営目標・環境経営計画》

次年度もこの方法で取り組んでいきます。

《経営システムの各要素》

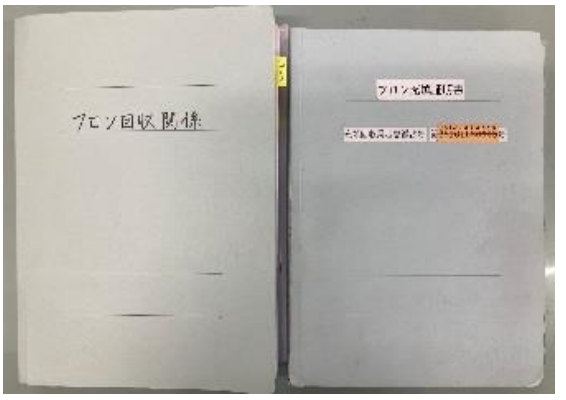
引き続き取り組んでいきます。

（2）評価と見直し

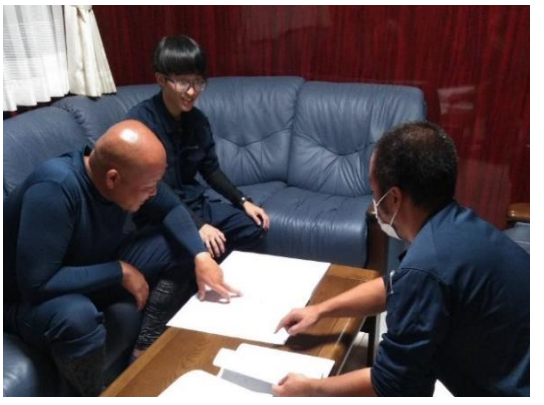
今年度も売上高ベース原単位の削減を目標に、エネルギー使用量を把握しながら削減対策に取り組み、目標を達成することができました。
著しい燃料高騰・物価の上昇が続く中、無駄をなくす事が環境配慮や安全にもつながるので、今後の事業活動でも心がけていきます。

環境活動の紹介

○フロン回収関係



○社内教育



○清掃活動